

# 個人質問

35人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

## 子育て・福祉

### Child Care Welfare

#### 3歳児教育を拡大・実施する 公立幼稚園を新たに選定

**問** 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まる。所信表明で3歳児教育のニーズの高まりを予測しているが、受け皿をどう確保していくのか。

**答** 2年4月に認定こども園へ移行し3歳児教育を開始する予定の3園（宇野、今、旭竜）に加えて、同月から3歳児教育を拡大・実施する公立幼稚園を選定することとした。

具体的には、3年度以降に認定こども園へ移行を予定している園や、3歳児教育を行っていない中学校区の園など5～10園程度を元年11月ごろまでに選定し、宇野、今、旭竜の3園と合わせて150～200人分の受け皿を確保したいと考えている。

#### 認可外保育施設への 予告しない巡回指導も検討

**問** 本市では認可外保育施設も全て無償化の対象にしているが、質の保証は不十分で、このままではさんな保育体制を見抜けない。抽出してでも抜き打ち調査を行ってはどうか。

**答** 認可外保育施設への立ち入り調査では、資料の確認のほか、保育内容の聞き取り調査を行っている。通常、保育に支障を来さないよう事前に連絡をしているが、令和元年10月以降に開始する巡回指導は、日頃の保育の状況を見てアドバイスをすることを目的としており、予告し

ないで訪問することも検討していきたい。

#### 子どもの命を守る安全対策

**問** 大津市の保育園児死傷事故を受け、園児が日常的に集団で移動する経路の調査が行われたが、危険箇所はどのくらいあるか。また、車止めポールを設置場所は決まったのか。

**答** どうしても通らざるを得ない小・中学生の通学路と園児らの活動の経路上にあり、過去5年間に子どもの事故が複数発生した交差点を、警察との合同点検で17カ所抽出した。今後、交差点ごとにポールの配置や形状等を決め、令和元年度中の対策実施に向けて取り組んでいく。

また、内閣府等から、交差点に限らない移動経路の緊急安全点検の要請があり、49園から114カ所の危険箇所が上がっている。今後、警察と連携して安全対策を検討していきたい。



#### 放課後児童クラブで 減免制度を導入予定

**問** 3人以上の子どもを持つこ

とができる環境を応援するため、多子世帯に対する施策を強化するべきではないか。

**答** 施策や事業の企画、見直し等を行う場合には、多子世帯への配慮に努めていきたい。

なお、令和2年度から市に移行する放課後児童クラブの保護者負担金は、兄弟姉妹が同時に在籍する場合、第2子で4分の1減額、第3子以降で2分の1減額といった減免制度を導入する予定。



子どもたちが楽しく過ごす放課後児童クラブ

#### 必要に応じたケアマネジャーの 同席と福祉用具のレンタル

**問** ①介護認定で利用者の担当ケアマネジャーを認定調査に立ち合わせることはできないか。②手すりやベッドなど生活に必要なものは要介護2以上でないと利用できないが、がん患者は要介護度が下がる場合も利用を継続できないか。

**答** ①本人や家族だけでは状況把握が十分にできない場合は、ケアマネジャーに同席をお願いする場合がある。

②がん患者に限らず、要介護1以下でも、ケアマネジャーの判断と医師の医学的所見等により、例外的に福祉用具のレンタルを認める場合はある。

## 防災・産業 Disaster prevention Industry

### 気候変動に適應する 計画の策定

**問** 平成30年7月豪雨災害は、本市のあらゆる部門で災害対策を見直す契機になった。気候変動の影響による被害の回避・軽減（適應）策として、地域気候変動適應計画を策定してはどうか。

**答** 本市においても、最高気温の上昇による猛暑日や、それに伴う熱中症患者が増加傾向にある。また、集中豪雨が全国各地で頻発しており、気候変動の影響は避けられない状況である。

適應策に取り組むことは重要と認識しており、令和2年度に、岡山市地球温暖化対策実行計画の改定に合わせて、地域気候変動適應計画の策定を全庁的に進めていきたい。



市内の約6割に給水している三野浄水場

### 大規模停電時でも 一定期間の給水は可能

**問** 岡山市内がブラックアウト（大規模停電）した場合、浄水場の給水体制はどうか。

**答** 市内の約6割に給水する三野浄水場など非常用発電機を設置している浄水場では、直ちに供給を再開する。設置していない浄水場でも民間企業との支援協定に基づき、優先的に発電機の提供を受け、水を供給する。

三野浄水場では、備蓄燃料で3.3日間の運転継続ができるほ

か、民間の燃料供給協力事業者の登録や神戸市・新潟市と燃料供給に関する覚書を交わしており、燃料確保の体制を整えている。

### アレルギー対応食の備蓄を研究

**問** 多くの自治体で避難所へのアレルギー対応食の備蓄が進んでいないと聞かすが、本市の取り組みはどのようになっているか。

**答** 現在、災害時の食料としてアルファ化米、クラッカーなどを備蓄しており、そのうち1割程度をアレルギー対応食としている。

アレルギー対応食は種類に限られるなどの課題があるが、今後研究していきたい。

### 増加する外国人雇用の現状

**問** 本市でも多くの外国人が働いているが、労働者数などの現状と、採用企業への支援策は。

**答** ハローワーク岡山管内の外国人労働者総数は、平成29年10月末の5,004人から30年10月末の6,133人と、約22%増加した。

また、外国人を雇用している事業所は、同じ期間中に753カ所から875カ所と、約16%増加した。これは技能実習生と留学生の受け入れが進んでいることが要因と考えられる。

現在、企業、大学、支援機関にヒアリングやアンケートを行っており、外国人を採用する企業へどのような支援ができるか研究していきたい。

### おかやま e スポーツラボに参加

**問** 産官学連携を含んだ、本市

の e スポーツ※<sup>1</sup>への関わり方の現状は。市民が e スポーツに触れ合う場を作ってはどうか。

**答** e スポーツについては、大会の開催等を通じて地域産業の振興にもつながるものに対し、後援を行っている。また、令和元年8月に設立された「おかやま e スポーツラボ」は、岡山県 e スポーツ連合を中心とした産官学民連携の協議体組織であり、本市もオブザーバーとして参加している。

e スポーツと触れ合う場合は、行政の関わり方を含めておかやま e スポーツラボで協議しながら取り組みたい。



岡山駅前商店街で開催された e スポーツイベント

### 捕獲した鳥獣を ジビエ※<sup>2</sup>で利用拡大

**問** 鳥獣害対策で捕獲した鳥獣は有効利用するべきだが、本市にある民間のジビエ処理加工施設で、捕獲計画頭数の処理は可能なのか。また、ジビエを PR して販路拡大に努めているか。

**答** 捕獲した有害獣はジビエ利用に適さないものも多く、利用の割合はまだ低い。事業者と猟友会との連携を進めている。

消費についてもまだ一部の飲食店に限られているが、処理加工施設は本市の支援の下、国の「国産ジビエ認証」を目指しており、取得により安全への信頼性が向上し、需要も高まると期待している。

#### ※用語解説 ※1【eスポーツ】

コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

#### ※用語解説 ※2【ジビエ】

狩猟で得た野生鳥獣の食肉を意味するフランス語で、日本では捕獲数の多いシカやイノシシのジビエ料理の提供が増えている

#### ※用語解説 ※3【立地適正化計画】

都市全体の観点からの居住や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープラン。従来の都市計画の規制を前提に、居住誘導区域や都市機能誘導区域を定め、届出制度などの誘導手法により、緩やかに都市をコントロールする制度



## まちづくり・観光

Community Planning  
Tourism路面電車延伸・環状化の計画  
元年度中の取りまとめを検討

**問** 延伸・環状化案が提示され有識者検討会に諮られたが、どこまでを協議していくのか。また、案から計画にはどのように進めるのか。

**答** 将来人口、土地利用の変化、公共施設や文化観光施設等の立地を踏まえ、採算性を前提とした7つの候補路線や優先順位に関する市の案を示した。

現在、パブリックコメントを実施しており、その意見や検討会での議論等を参考にしながら、令和元年度中には計画を取りまとめたい。

その後、短期的に取り組める区間は事業者や交通管理者などと協議・調整を行い、できれば2年度予算に予備設計の予算を計上していきたい。

市域全域で機能や役割を補完し  
都心と周辺部の発展を目指す

**問** 立地適正化計画<sup>※3</sup>基本方針(案)が示されたが、市街化調整区域や中山間・周辺地域の切り捨てになるのではないか。

**答** 本市では「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」を進める方針としている。

これは、日常的なサービスは地域の拠点を中心に、より高次のサービスは都心で受けることができ、多様な人、モノ、情報が活発に行き交い、市域全域で機能や役割を補完し合いながら、都心と周辺部がともに発展する都市の形成を目指すものである。本計画の策定により市街化調整区域や中山間・周辺地域を切り捨てるものではない。

## 生活交通の導入に地域の声を

**問** 生活交通の整備は、居住している地域に安心して住み続けるための重要な施策だが、現状と今後の見通しはどうか。

**答** 御津・建部、足守地区では既存の生活交通の運行改善を継続的に行い、迫川、千種地区ではデマンド型乗合タクシーを導入し、牧山、馬屋上・野谷、角山、城東台・草ヶ部地区でもデマンド型乗合タクシーの導入に向けた検討・準備を進めている。

今後も、生活交通の導入を検討したいという声があれば、地域に出向き、本市の取り組みを紹介しながら一緒になって検討を進めたい。



千種地区で導入されたデマンド型タクシー

## 宮川の排水機場設置を県に要望

**問** 瀬崎地区の宮川は、大雨による浸水で多大な影響が出ているため、約20年前から倉敷川に直接排水する河口の整備を県に要望している。樋門操作だけでは排水は無理なので、排水機場の設置を働きかけられないか。

**答** 県管理の二級河川の宮川は、水門や排水機場で二級河川の倉敷川へ合流しており、早急に合流部を改善すべきと認識している。河口部への新たな排水機場の設置も、要望の主旨を県に伝えていきたいと考えている。

バス料金の高齢者割引などで  
公共交通を充実・改善

**問** 岡山市地域公共交通網形成協議会<sup>※4</sup>で高齢者などのバス代を補助する発言があったが、どんな思いで決断したのか。

**答** 今後の人口減少、高齢化社会を見据え、高齢者、障がい者などの交通弱者を対象とした料金割引の支援のための投資を行う必要がある。割引により、高齢者などに利用しやすい運賃になり、利用が増えることが経営の安定化にもつながり、公共交通ネットワークの維持や改善につながると思う。

割引による効果を最大限高めるためには、周辺部の路線の維持・充実などを図る必要があり、路線の再編と併せて取り組んでいきたい。

充実した観光案内所で  
外国人観光客に魅力を発信

**問** 本市を訪れた外国人観光客に、観光案内等でどのような多言語化の対応を行っているか。

**答** 外国人旅行者等の利便性や満足度を向上させ、本市の魅力を積極的に発信していくことは重要であることから、ももたろう観光センターを、カテゴリ-3<sup>※5</sup>の外国人観光案内所としてJNTO(日本政府観光局)に申請し、認定された。

今後は、この充実した機能を十分に発揮し、一層の情報発信等を行っていきたい。



岡山駅地下にあるももたろう観光センター

◆用語解説 ※4【岡山市地域公共交通網形成協議会】

地域公共交通網形成計画の策定及び実施に関し必要な協議を行うため設置された協議会で、本市のほか、学識経験者、公共交通事業者、利用者代表や警察などが出席している

◆用語解説 ※5【カテゴリ-3】

外国人観光案内所の認定区分の一つで、主な基準として、英語による対応と英語を除く2言語以上での案内が常時可能な体制、全国レベルの観光案内を提供、原則年中無休、Wi-Fiがある、など